

上矢部高校
普通科・専門学科併置校
設置計画

平成28年10月

神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 上矢部高等学校
(2) 位置 上矢部高等学校敷地(横浜市戸塚区上矢部町3, 230)
(3) 実施年度 平成29年度

2 設置の目的

- これまで普通科専門コースとして取り組んできた教育活動を継承・発展させ、素描・ビジュアルデザイン・陶芸など、美術の専門的な内容を深く学べ、生徒の個性を伸ばすことができる美術科を設置する。
- 美術科の併置により、学習や進路について普通科と相互の融和を図る。
- 進路希望実現のための共通した基礎的な科目を踏まえつつ、自己の適性や将来の自己のあり方を見つめた上で、さらに専門性を深めるための発展的な科目の学習を充実するなど、一人ひとりの個性を伸長することをめざした教育を行う学校づくりを行う。

3 基本的コンセプト

学年制による全日制普通科と専門学科とを併置する県立高校として教育を展開する。

普通科としての学習の取組みと教育の展開

普通科として共通教科・科目を中心とした学習に取り組む、生徒一人ひとりの学習や進路のニーズに応じた質の高い教育の提供を図る。

美術科としての学習の取組みと教育の展開

美術科として、将来、美術の専門性をいかして社会に貢献できる人材の育成をめざし、美術に関する高い意欲と幅広い視野、確かな基礎力を身に付け、多様な進路希望に対応できる専門的教育を展開する。

また、絵画、彫刻、デザイン、工芸など、多様な分野にわたる美術系の選択科目を設置し、生徒一人ひとりの進路希望や学習ニーズに応じることができる教育課程を編成する。

普通科と美術科の併置をいかした教育課程の編成

普通科と美術科の併置をいかし、相互の科目を履修できる教育課程を編成する。普通科においては、充実した環境のもとで芸術に親しみ、個性を伸ばす教育の展開も可能とし、美術科においては、進路希望の実現に向けた充実した共通教科・科目の履修も可能とする。

教育目標をもとにした教育展開

「豊かな個性の伸長をはかる」「自主・自律の精神を育てる」「連帯の輪をひろげる」の教育目標のもと、保護者・地域と連携しながら、自ら考え、主体的に学習し、社会的・職業的に自立した生徒を育てる。

4 設置形態

- (1) 課程 全日制の課程
- (2) 学科 普通科
美術科(美術に関する学科)
- (3) 学校規模 全日制の課程 960名(各学年320名 8学級規模程度)
普通科 840名(各学年280名 7学級規模程度)
美術科 120名(各学年40名 1学級規模程度)
学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
- (4) 修業年限 3年
- (5) 学期 3学期制
- (6) 履修形態 学科ごとの科目履修及び自由選択科目の科目選択
- (7) 授業展開 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定
<日課表> (予定)

	(月) ~ (金)
ショートホームルーム	8:40 ~ 8:50
1 校 時	8:50 ~ 9:40
2 校 時	9:50 ~ 10:40
3 校 時	10:50 ~ 11:40
4 校 時	11:50 ~ 12:40
昼 休 み	12:40 ~ 13:25
5 校 時	13:25 ~ 14:15
6 校 時	14:25 ~ 15:15
ショートホームルーム	15:15 ~ 15:20

* 1、2年の一部の曜日については、7校時目を設置する場合がある。

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集（中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者）
- (2) 選抜の区分 共通選抜
- (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

(1) 基本的方針

高等学校在籍3年以上で、必履修科目を履修し、高等学校学習指導要領に基づいて学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。

普通科では、各自の進路希望や学習希望などに応じて必要な科目の選択を可能にし、進学をめざす生徒に対する多様な選択科目を設置する。

専門教育に関する教科・科目の履修については、25単位を下らないこととする。

(2) 教育展開の方針

入学時の学力検査や生徒学力調査に基づき、生徒の個性や能力を伸ばす授業等の学習活動を工夫した教育を展開する。

学校全体として、普通科と美術科の併置をいかした相互の科目を履修できる教育を展開するとともに、地域の特性をいかした県立高校生学習活動コンソーシアムによる教育を展開する。

(3) 編成の方針

普通科として、共通教科・科目を中心とする必履修科目や選択科目、総合的な学習の時間等の領域で教育課程を構成する。

美術科の専門学科として、学科の設置趣旨や目標に基づき、生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばし、将来のスペシャリストの育成をめざして、進学や就職など多様な進路に対応した教科・科目により教育課程を編成する。

生徒の学習や進路ニーズ等に応じて適正な教育課程を編成するとともに、美術を深く学び、探究する系統性のある科目の配置や教育活動の工夫を教育課程上に明確にする。

専門教科「美術」に属する各科目を設置し、美術科においては25単位以上を履修する。

美術科における専門教科「美術」に属する各科目の設置については、1年では、美術の基礎的能力を身に付け、幅広い視野を育てる。

2年では幅広い分野から選択して学習する中で自分のさまざまな可能性を見出し、進路選択につなげ、3年では各専攻に分かれ、進学を視野に入れた専門性の高い教育を施す。

発展的・補充的学習への対応については、より深く学びたい分野について発展的に学習できるよう、放課後や長期休業期間中等を利用して学習の機会を設ける。

総合的な学習の時間を有効に活用し、地域等と連携した校外学習やそれぞれの進路を意識した活動、課題研究などに取り組む。

普通科・美術科の併置により、授業や特別活動・課外活動などにおいて両学科の生徒が相互に交流し融和を深められるような展開を工夫し、学校全体の活性化を図る。また、美術科の専門的な教育活動を学校全体へ波及させ、特色ある教育活動を推進する。

(4) 教育課程表(予定)

普通科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
1 学 年	国語総合			現代 社会	数学			数学 A	化学 基礎	体育			保 健	音 楽 / 美 術 / 書 道	コ ミュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語		英 語 表 現	家 庭 総 合	社 会 と 情 報	総 合 的 な 学 習 の 時 間	L H R	自 由 選 択										
2 学 年	現 代 文 B	古 典 A	世 界 史 A	地 理 A	数 学			物 理 基 礎	生 物 基 礎	体 育			保 健	コ ミュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語		家 庭 総 合	必 修 選 択	総 合 的 な 学 習 の 時 間	L H R	自 由 選 択												
3 学 年	文 系	現 代 文 B	日 本 史 A	体 育	コ ミュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語			必 修 選 択(1)		必 修 選 択(2)		必 修 選 択(3)	必 修 選 択(4)	自 由 選 択 A	自 由 選 択 B	総 合 的 な 学 習 の 時 間	L H R															
	理 系	現 代 文 B	日 本 史 A	数 学			数 学 研 究	体 育	コ ミュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語		必 修 選 択(1)		自 由 選 択 A	自 由 選 択 B	総 合 的 な 学 習 の 時 間	L H R																

必修選択科目

2年：数学B、音楽、美術、書道、英語研究、映像表現、版画、陶芸表現、クラフトデザイン

3年：(1)世界史B、日本史B、地理B、物理、化学、生物
 (2)世界史B、日本史B、地理B、古典B、数学一般
 (3)(4)国語表現、国語一般、政治・経済、スポーツ、地学基礎、倫理、音楽、美術、書道、英語研究、文書作成と表計算

自由選択科目

1・2年：デッサン、日本画、洋画、陶芸
 3年：国語表現、現代文特講、古典特講、世界史特講、日本史特講、発展数学（理系のみ）、物理、化学、生物、物理研究、化学研究、生物研究、ピアノ演奏法、素描、素描応用、インテンシブリーディング、子どもの発達と保育、フードデザイン、服飾手芸

美術科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
1学年	国語総合			現代社会	数学			体育	保健	美術	コミュニケーション英語		英語表現	社会と情報	美術史	素描	構成	総合的な学習の時間	LHR	自由選択												
2学年	現代文B	古典A	世界史A	生物基礎/物理基礎	体育	保健	コミュニケーション英語		家庭基礎	素描	必修選択(1)		必修選択(2)	総合的な学習の時間	LHR	自由選択																
3学年	現代文B	日本史A	科学と人間生活	体育	コミュニケーション英語		素描	必修選択		鑑賞研究	自由選択A	自由選択B	総合的な学習の時間	LHR																		

美術科必修選択科目

2年：(1)絵画(日本画)、絵画(洋画)、彫刻、ビジュアルデザインから1科目
 (2)映像表現、版画、陶芸表現、クラフトデザインから1科目
 3年：絵画研究、立体研究、デザイン研究から1科目

自由選択科目

1・2年：デッサン、日本画、洋画、陶芸
 3年：国語表現、現代文特講、古典特講、世界史特講、日本史特講、数学A、生物研究、化学基礎、ピアノ演奏法、素描応用、インテンシブリーディング、子どもの発達と保育、フードデザイン、服飾手芸

(囲いの数字は単位数)

教育課程表は予定であり、変更することがある。

普通科と美術科の併置の特色をいかした選択科目について

普通科・美術科の併置の特色をいかした教育課程を編成するため、専門的な学習や進路の活動に対応できる科目、ビジュアルデザイン等、専門的に深く学べる科目を設置する。

<主な科目>

版画 ...いろいろな表現形式による版画表現に関する学習を通して、表現と鑑賞の能力を高める。

映像表現 ...写真、ビデオ等の映像機器を使った表現に関する学習を通して、表現と鑑賞の能力を高める。

(5) 学習指導の工夫

知識の質や量の改善とともに、学びの質や深まりを重視し、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習や、そのための指導の方法等を充実させる取組みを図る。

自らの学習目的や進路希望に基づいて、主体的に学習を進めることができるよう、また、基本的な内容から発展的な内容を含め、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図ることができるよう指導する。

専門科目の展開では、実技・実習などの学習活動を充実させるとともに、各自の学習ニーズに応じたきめ細かい指導が実施できるよう配慮する。

(6) 生徒指導等の工夫

特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動により、さまざまな個性を相互に尊重し、より良い人間関係の構築と自立をめざす指導を行う。

生徒の状況を的確に把握し、さまざまな課題を抱える生徒に対して、一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を、学校全体で行う体制を整える。

学科の特性をいかした学校行事、生徒会活動、部活動や地域連携活動を活性化させ、学校全体としての特色ある学校づくりを推進する。

生徒理解を深めることを基本に、生徒相互の良好な人間関係を育むとともに、生徒と教師との信頼関係を大切にした生徒指導に取り組む。

(7) 進路指導の工夫

生徒が自己のあり方、生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育を推進するとともに、生徒一人ひとりの進路目標の実現を図るため、計画的、組織的な進路指導を行う。

教育課程や学習指導と一体化したきめ細かい指導や進路希望に対応したガイダンスの機能の充実を図るなど、支援体制を確立する。

(8) 学校経営

学校教育計画に基づき、学校評価や第三者評価の報告をいかすなどして、一層充実した自律的・組織的な学校経営に取り組む。

7 施設・設備の整備

学年制による全日制普通科及び美術科の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

学年制による全日制普通科及び美術科の教育の展開に必要な職員配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画室高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通 33 〒231-8509 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線 8255・8256